

議会自治区制度等行財政改革推進特別委員会の意見等（要旨）

【議題 行財政改革実施計画〔平成 30 年度実績及び令和元年度計画〕（案）について】

1 取組項目について

1-(1)-14 次期基幹系システムの導入に向けた検討（自治体クラウド等検討）〔P21〕

No.	意見等	回 答
1	単独クラウドを選択されているが、共同クラウドとしなかった理由はなにか。	現在のシステムが浜田市の業務に合うようにカスタマイズしており、共同クラウドにすると業務の効率性が下がる恐れがあるため、今回の更新については、単独クラウドと判断した。

1-(2)-2 ひゃこるネットみすみの効率的運営〔P36〕

No.	意見等	回 答
2	これまで「C」評価が続いている。課題に対して目指すべき将来像(案)を作成するとあるが、実行に移せなければ意味がない。今後の取組に対する思いを伺いたい。	番組統合について地域協議会等でも説明したが、なかなか理解が得られないのが現状である。今後は、部分的な番組統合のみではなく、施設の共同利用の検討、防災面での活用も含めて、考えていきたい。

1-(2)-13 婚活関連業務（男女の出会い創出事業）の外部委託〔P47〕

No.	意見等	回 答
3	外部委託をして効果があるのか。	行政が婚活に踏み込むには限界がある。事務事業評価では民間委託の方針が示されたが、もちろん行政も関わりながら進めていく。県の助成事業も活用しながら取り組みたい。

1-(2)-14 地域包括支援センターの効率的運営〔P48〕

No.	意見等	回 答
4	現在、各支所に 1 箇所ずつサブセンターを配置して、利用者が相談しやすい体制を構築している。 外部委託により、利用者サービスはどうなるのか。	サービスが低下しないことを前提に、同程度の箇所数は必要と考える。 委託したとしても、それで終わりではなく、虐待への対応など、市が担うべき内容もあると考えている。

1-(2)-15 放課後児童クラブの効率的運営 [P49]

No.	意見等	回答
5	民間に任せきりで失敗した例もあるが、外部委託でよいか。	県内を見ると、委託しているところは多数ある。浜田市内でも、地元の実行委員会が運営しているものもある。サービスが低下しないことを前提に民間の運営、地元組織による運営を検討する。

2-(1)-14 道路施設の長寿命化計画の策定及び推進 [P64]

No.	意見等	回答
6	トンネルの場所はどこか。	釜屋トンネル（三隅町）、生湯トンネル、雲月トンネル（旭町）の3か所。
7	生湯のトンネルは古いため長寿命化が必要だと考えるが、三隅のトンネルは、あまり古くないものと認識しているが、長寿命化が必要か。また、国、県の補助金等があるのか。	20年以上経過している。橋梁等新しいものも含めて、定期的な点検は必要である。国の交付金を受けて調査している。橋梁については約1,000か所あるが、5か年で一巡した。

2-(2)-2 市有財産の利活用 [P73]

No.	意見等	回答
8	売却見込み額と売却額の乖離が財政効果額に表れているが、売却見込み額の基準や売却の手法は、どうしているのか。	<p>市有財産売却計画を策定する際、不動産鑑定を取っている財産については鑑定評価額を、取っていない財産については固定資産税評価額を基に売却見込み額を計上した。</p> <p>売却額と売却見込み額の乖離が大きかった財産は、固定資産税評価額で見込みを計上した財産である。実績が下がった大きな要因は、原井小学校プール跡地の乖離が大きかったこと、旧那賀会館の発掘調査により公募を延期したこと、住宅団地が売却できなかったこと等がある。</p> <p>売却は公募で行うため、最低売却価格を提示し、最低売却価格以上で入札のあった方に売却する。</p>

2 事務事業評価結果の扱いについて

No.	意見等	回答
9	事務事業評価を行った項目については、順次計画に追加していくのか。	昨年度実施した事務事業評価結果に基づき、今回4項目を追加した。今のところ、毎年事務事業評価を行う予定はないが、今後事務事業評価を行った際に行革実施計画に追加するかは、その都度検討したい。
10	事務事業評価の対象が75事業あるうち4項目のみ行革実施計画に挙げ、その他の項目については検討しないということか。	元気な浜田事業（36事業）をまとめて1項目で挙げ、外部委託を検討する事業（7事業）のうち、行革実施計画の対象期間内となる3項目を追加した。各課が見直しを提案する事業（32事業）は追加していない。

3 業務改善について

No.	意見等	回答
11	国が推奨する行革の手法の一つとしてBPRがある。県内で取り組んでいる自治体はないが、今後業務の効率化を図るうえで、BPRを取り入れる考えはあるか。現在導入していない理由はあるか。 (BPR:Business Process Reengineeringの略で、既存の業務内容、業務フロー、組織構造を見直し、業務プロセスを再構築すること。)	例えば、窓口業務の外部化による業務改善等検討してきたが、リスクを伴う。他自治体の事例を見ても、あまり成功している様子ではなく、導入は難しい。 今後の方向性として、施設運営等、民間ノウハウを活用できるものについては、検討を進めたい。
12	新しいことを取り入れるには時間がかかり、リスクを伴うのも承知しているが、指針だけでは外部化は進まない。業務の効率化を進めるのであれば、指針に伴うアクションプランを作るべきであり、仕組み作りも進めてほしい。	検討したい。